

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所あいらすたぁ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や祝日、長期休み等は外出活動に力を入れています。安全第一を考え、その中にも楽しみを見出していただけよう日々従業員で話し合いを行って計画書を作成しています。ご家庭によってはお仕事のご都合もあり、中々外出が難しい方も居られる為今後も継続していきたいと考えています。	外出時に交友関係を広げていくことが出来るよう活動班の組み合わせに配慮しています。また大きいお友達や年下のお友達のリーダーシップをとる機会も設けていただいています。	他事業所さんとも交流を図らせていただく機会を設けていきたいと考えています。
2	法人内に事業所数が多いので、大きなイベントでは合同で活動することもあります。その際に仲の良いお友達としてだけでなくライバルとしてお互いに練習の成果を発揮し合い称え合う機会を設けていただいています。また就労支援が中心となってイベントを催し、利用者様同士の交流の場も設けていただいています。	練習期間を設け、自事業所のチームの勝利に向けて団結力を高める機会を設けていただいています。目標に向けて努力し、プレッシャーに打ち勝てるようメンタル面のケアもさせていただいています。またイベントによってはお買い物の練習もさせていただいており、お金の管理について学ぶ機会も設けていただいています。	お子様の頑張りを送迎時の報告や連絡帳だけでなく実際に見ていただけるよう保護者参加型の形にしていきたいと考えています。従業員もより一層緊張感を持つことが出来、イベントの精度に磨きをかけていきたいと考えています。
3	新しい事にどんどん取り組んでおり、関連会社の駄菓子屋さん、たご焼き屋さん、ガチャガチャ屋さんにお買い物に定期的に伺わせていただいています。居宅介護や短期入所等のご相談にも乗らせていただいています。	ご家族様のご要望に応じて事業所外のサービスとも繋がる事が出来、総合的な支援を行わせていただいております。	皆様のご要望にお応えできるよう、各事業所で研修による知識を高めサービス数の多さに更に質の高さを年々足していける体制を構築します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや町内会と交流の機会をあまりもつことが出来ない。	大型イベントのみではなく地域密着型のイベントの開催を検討していきたい。依然行っていた地域清掃の再開も検討する。	法人内の就労支援とも協力し合い、地域の方を事業所にお招きする形でのお祭りの開催等を目指していきたい。
2	保護者同士の交流の場やペアレントトレーニングの場を設ける事が出来ない。	お仕事のご都合もあり、各ご家庭との日程調整が難しい。時間帯等もご家庭に配慮した形での提案が必要である。	今後保護者の方と事業所、保護者様同士での意見交換が出来る機会を設けていきたいが、その為の体制作りが求められる。
3	知識や経験の差から、従業員間に能力差が生まれてしまっている。	全体のレベルの底上げだけでなく従業員の役割分担に合わせて特化させて強みを活かす形も検討する。	どの従業員でも安心して任せていただけるよう更に研修の機会を設け、従業員一人一人の課題に合わせた教育体制が必要である。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所あいらすたあ

公表日 令和7年 3月 26日

利用児童数 30人

回収数 22人

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	特に狭いと聞いたことはない。 連絡帳で見ているが特に手狭だとは感じ ない。	今後も安全第一で活動スペースの確保を させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	77%	9%	0%	14%	適切だと思う。	事故を未然に防ぐ為今後も配置に注意さ せていただき、ミーティングでの事故予 測も継続してまいります。
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	72%	18%	0%	10%	玄関にスローパーがあるのを迎え時に気 にすることがある。	今後車いす利用の方に向けて、トイレや 廊下だけでなく活動室のバリアフリー化 も検討させていただきます。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	59%	23%	9%	9%	人数が多いせいか靴が散らかっていて気 になったことがある。	整備が行き届いておらず申し訳ございませ ん。定時での従業員全員での清掃と環境整備 担当職員を設け改善させていただきます。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	81%	14%	0%	5%	専門職員の方が行ってくれている支援の 内容を聞いている。	今後も専門職員の意見を取り入れた支援 を継続させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	81%	5%	0%	14%	適切だと思う。	今回より皆様にご確認していただける形 をとらせていただきます。
	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	95%	5%	0%	0%	作成していただいたものを確認して再度 修正してくれたり意見を取り入れてく れているのが分かる。	今後もご家族様とご相談させていただ いたうえで作成させていただきます。
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	90%	0%	0%	10%	計画書に記載がありました。 職員の方から説明を受けている。	今後もご家族様に具体的な内容を確認し ていただきやすいものを作成させていた できます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	81%	9%	0%	10%	「ここまで頑張れました」「今日はこう いった部分が難しかった」等教えても らっている。	今後も支援の様子を随時お伝えさせて いただきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	81%	9%	0%	10%	いつも色々な活動で子ども毎月予定表を見るのを 楽しみにしています。 季節毎の楽しいイベントがたくさんで助かりま す。	年々同じ活動でも精度をあげていけるよ うに従業員間でのミーティングを重ねて まいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	36%	14%	23%	27%	よく分からない。 大きなイベントでは交流されてるのか な？	より交流を持たせていただくために法人内の 就労支援事業所と協力し、地域の方々をお招 きするお祭りの開催を検討いたします。
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	契約の際に管理者の方から聞いています	今後もご不明な点がございましたら随時 お答えさせていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	95%	5%	0%	0%	職員さんから伺っています。	今後もご家族様へご説明の上支援にあた らせていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	54%	14%	18%	14%	情報提供を希望したことがないが、希望 があれば提供して下さると思う。	現在ご家族様をお招きしての研修会は開 催出来ない為、今後検討させていた できます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	送迎時や電話で色々相談させてもらって います。	今後も伝達漏れのないよう新しく伝達の 記録を書面でまとめる形を検討いたしま す。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	59%	31%	5%	5%	事業所で話を聞いてもらっている。 送迎時に相談させてもらうことがある。	今後も随時ご相談いただけるようご家族 様との関係づくりを大切にさせていただ きます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	72%	28%	0%	0%	家での様子を踏まえて事業所でどうい う様子だったのか教えてもらいました。	今後もご家族様との情報共有を大事にさ せていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいの支援がされていますか。	36%	14%	23%	27%	参加はしたことはないが、あるのかもし れない。 そういった会の連絡はいただいていな い。	現在ご家族様同士の交流の場を設けるこ とが出来ていない為、今後そういった場 を設けさせていただけるよう検討いたし ます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	90%	0%	0%	10%	デイサービス以外にも相談に乗らせても らっている。 利用日数の変更や手帳について相談に何 度も乗らせてもらった。	今後もデイサービスに限らず、法人内お 関連サービスに関しましても随時ご相談 に乗らせていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	活動参加を無理強いしない形をとってもらっているのが助かっている。	今後も利用者様の意思を尊重しつつご家族様のご意向も考慮させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	86%	5%	0%	9%	Instagramとブログを子供と一緒によく見えます。事前に掲載許可もとって来ていました。	今後も定期的な更新を続けてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	そう思う。キチンとしてくれていると思います。	個人名の記載がある書類は鍵付きの書庫で今後も厳重に管理させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	45%	18%	0%	37%	コロナウイルスの対策や受け入れについて説明を受けています。	法人内の委員会を中心に今後も定期的な見直しと研修を行わせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	59%	9%	5%	27%	避難訓練をされていました。「デイで習ったから家でも」と子供が防災リュックを用意してがっていました。	年間行事として今後も実際に基づいた形で実践させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77%	5%	5%	13%	いつも気を付けていただいています。安全第一で外出から室内活動に変更された報告を送迎時にももらったことがあるので気を付けてくれていると思う。	安全第一はもちろんですが、その中でも楽しみに繋げることが出来るように安全だけでなくプラスアルファの形を従業員一同で検討させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77%	5%	0%	18%	小さな怪我でも報告をもらっている。学校でできた怪我也報告してもらった。	車両事故に関し早急な対応がとれるよう連絡先の周知と研修を行っています。また各種マニュアルの定期的な見直しも行わせていただき、事故防止への意識を高めさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90%	10%	0%	0%	活動も楽しみにしている。しっかり活動して帰ってくるので助かっている。	「楽しい」「安全」は当然のものとして、皆様に満足していただけるよう活動内容もブラッシュアップさせていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	85%	5%	5%	5%	予定表を見て楽しみな日は子供が丸を付けている。	今後も様々な体験をしていただけるよう従業員間でのミーティングを重ねてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	0%	0%	5%	いつもありがとうございます。色々な活動が年々増えているので連絡帳を見るのが楽しみ。	今後も「安心安全・楽しい」を今後も念頭に置いて支援にあたらせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所あいりすたあ				公表日	令和7年 3月 26日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	85%	15%	適切に守れていると思う。活動や人数によってはスペースが狭く感じることがある。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		70%	30%	人数に合わせて申し送り時に配置、役割の最終確認を行っている。	今後も継続して行う。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		85%	15%	玄関、廊下、トイレ、階段等様々な場所にスローパーがある。	来所～活動までのスムーズな流れを構築するために荷物置き場等の変更を検討し、導線の見直しを行う。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		70%	30%	定時で従業員全員で清掃を行っている。終業後の環境整備担当の職員も決めている。トイレの汚れが気になることがある。	多機能型事業所である為、共用で使用するトイレや玄関の美化により一層努める必要がある。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%	0%	感情のコントロールが難しい際のクールダウンの為に別室や集団活動が難しい児童向けの個別対応のスペースを設けて対応している。	今後も状況に応じて臨機応変に対応をする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に面談を行っている。一人一人個別の目標を設定して、自己採点や評価をしている（中間レビューも実施）。	具体的な目標設定期間の締め切りを、長期休みや下校が早い週等の取り掛かりづらい時期を予め念頭に入れて設定する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年評価表を提出してもらっている。いただいたご意見を職員間で共有させていただいている。	今後も継続して行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日申し送りを行っており、月に1度のミーティングでも意見を共有し、業務改善を行っている。	今後も継続して行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	外部評価はまだ行うことが出来ていない。	今後の課題として検討させていただく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人研修、外部の研修を毎月受講している。受講した内容を申し送り時に事業所で共有している。	今後も継続して行い、外部研修への参加機会を更に設けていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	85%	15%	令和6年度より実施している。	今後も継続して行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	事業所内やご自宅でのモニタリングを行い、保護者様の意向を踏まえて計画書の作成を行っている。	専門的観点からの意見を更に取り入れ、今後も継続して行う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	55%	45%	毎回他職種の職員が参加し多角的な意見を取り入れて会議を行っている。	今後も継続して行い、活発な意見交換が行えるよう進行の仕方を再度見直す。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	長期目標、短期目標に則って支援を行っている。従業員への細かい周知がもっとあっても良いのではないかと。	ファイルにまとめる等の職員間で共有しやすい方法を再度検討する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の状況の変化の共有も出来ており、安全面に配慮して取り組むことが出来ている。	今後も継続して行う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	70%	30%	5領域を踏まえ具体的な支援内容が設定されており、計画書に落とし込みが出来ている。	専門的観点からの意見を更に取り入れ、今後も継続して行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	当日のトラブル予測も含め、話し合っ決めていくことが出来ている。	今後も継続して行う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	1か月毎にミーティングを行っている。話し合いの元活動予定表を作成しており、季節に沿ったものを取り入れている。	室内活動と屋外活動、制作活動と運動活動等のバランスを考慮する。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動に参加することが特性や当日のコンディションで難しい方も居られるので、申し送り時に話し合い、臨機応変に対応している。	今後も継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝申し送りを行っている。 当日のキャンセル等の予定も含め職員間で連携と共有が行えている。	今後も継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%	翌日に前日の振り返りを行っている。 その際に前日の送迎時の伝達事項も共有している。	今後は翌日ではなく支援終了時に共有できる形を検討する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85%	15%	毎日支援の記録をとっている。 内容に関して申し送り時に共有もしている。	連絡帳の作成に関し、効率の良い方法を再度検討する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	85%	15%	半年に一度実施している。 事業所にお越ししいたいて対面の形での対応もとらせていただいている。	中々都合が付きにくい保護者様も居られるため、もっと早い段階での日程調整を行う必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	85%	15%	安全第一で取り組んでいる。 その上で各活動に関しての目的や狙いも共有している。	職員間で活動に対する目的や狙いを更に共有することで円滑な支援、より深い視点での活動中の様子観察へ繋げていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	70%	30%	活動によっては全員で取り組むものもあるが、道具や順番等自己決定の機会も設けている。	今後は更に自己選択を出来る形へ活動準備や進行の仕方を再度検討する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	85%	15%	管理者が参加している。 各機関と定期的な連絡をとりあうことで連携を図っている。	今後も継続して行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	70%	30%	医療関係と連携して支援を行う事は中々出来ていないが、アレルギーや服薬による様子の変化は常時共有している。	協力医療機関との定期的な連絡を行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	保護者を介してや直接先生方とのやりとりを行うことが出来る。 不登校の利用者様に関してはご家族の了承の元それぞれの様子に関して情報共有を行っている。	法人へ連絡をいただくこともあった為、各学校へ事業所の番号を記載した手紙の配布を行った。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	85%	15%	就学後に利用される方が多いため、あまり連携を図ることが出来ていない。	ご家族様承の元お迎え時にお互いの情報を共有させていただく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	85%	15%	就労支援に移行される方に関して情報の共有を行わせていただいた。	今後は卒業後の進路の選択肢の一つとして就労支援事業所と情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	85%	15%	児童発達支援センターとの連携はまだ図ることが出来ていない。	今後連携を図らせていただけるよう体制を検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	85%	15%	自社の大型イベントにて、地域の方々に利用者様の作品や発表を見ていただいたりと交流の場を持たせていただいている。	更に地域の方々と交流を持たせていただけるよう大型イベントだけではなく、小さなお祭りの開催等も検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	まだ参加をすることが出来ていない。	今後参加していけるよう体制を検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	85%	15%	送迎時に様子を伝えている。 その際に家庭での様子や課題について話している。	今後も継続して行い、職員間の共有も欠かさず行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	ご相談いただいた際は助言をさせていただいているが、ご家族様が参加できる研修等はまだない。	ご家族様向けの研修等を開催できるよう検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に管理者が行っている。	今後も継続して行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援内容について予めご相談の上作成させていただき、日々の様子も送迎時にお伝えさせていただいている。	今後も継続して行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	作成したものを確認していただき、実施後も様子をお伝えさせていただきながら修正等を行っている。	今後も継続して行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	85%	15%	ご相談をいただくケースのみではなく、こちらからご相談することもある。随時連携と共有を図らせていただいている。	今後も継続して行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	保護者同士の交流機会は設けることができていない。	上述の保護者様向けの研修会で交流の時間も持つことが出来ないか検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	職員間で共有し、管理者を中心に迅速に対応・改善をさせていただいている。	些細な内容や、保護者様が気にされていない内容でもクレームではなく貴重なご意見として捉え都度共有と改善を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	Instagram、ブログ等のSNSで活動の様子を発信している。毎日連絡帳を発行している。	今後も継続して行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人名の記載がある書類は鍵付きの書庫で管理している。	今後も継続して行っていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	55%	45%	難しかったことを伝える際は、「他のアプローチをしたら出来た」や「出来なくてもここまで頑張れた」ことを伝えるようにしている。 従業員によっては伝達が不十分に感じる。	利用者様に今後もスモールステップで自己肯定感を高めていただく為に、「失敗」ではなく「小さな成功」として捉えながら関わらせていただく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	毎月ではないが、大きな行事では招待できている。	上述の児童間との関わりと同じく、地域密着型の小さなイベントの開催を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	研修の機会を設け、定期的の実施と見直しを行っている。	社内の委員会を中心に今後も継続して行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的防災訓練を行っている。実際の避難経路や防災グッズの確認も行っている。	定期的な見直し、修正を今後も行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	85%	15%	契約時やその後変更があれば随時共有を行っている。	服薬の変更等今後も保護者様との情報共有を継続して行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85%	15%	医師の指示書に基づく対応まではされていないが、職員間でアレルギーの把握を行えている。	身体ケアが必要な利用者様は居られないが、ご家族様との情報を共有することで医師の指示を元に精神面でのケアが必要な方が居られるかどうか再確認する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	85%	15%	定期的に見直しと修正を行っている。	定期的な見直し、修正を今後も行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	小さなヒヤリハットもご家族と共有している。	送迎時の伝達漏れを防止する為新しい様式を用いて記録に残す形を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月ヒヤリハットを作成しており、デミーティング、申し送りでも共有している。	今後も継続して行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	70%	30%	研修もっており、毎月従業員個人と事業所全体で適切な対応をとることが出来ていたかどうかミーティングでチェックしている。	社内の委員会を中心に今後も継続して行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に管理者より書面と口頭にて説明を行っている。	今後も継続して行う。	